

講演会（第 79 回例会）

演題：「終括」について

実施期日：令和元年 7 月 25 日（木）

会場：アオッサ 706, 707 号室：

講師： 講師：葬祭ディレクター1 級 清水貴裕氏

参加者：75 名（内新会員 2 名）

今回は「ふくい共済」（福井県認可の生活協同組合）の主催で「終括」についてと題し、終活の種類、エンディングノート（ふくい共済のご厚意で無料提供）の書き方、活用の仕方、葬祭に関する事などについて、（株）アスピカはくれん事業部福井本部主任で葬祭ディレクター1 級清水貴裕氏にご講演をお願いした。同共済では、生命医療共済「おもいやり」や少子高齢化時代に対応した葬祭介護の積み立て「やすらぎ」を事業展開しているとのこと。

講演はエンディングノートの書き方に移った。このノートは (1) 私の歩んできた道、(2) 私のもしもの時に、(3) 私のお葬式、(4) 私の覚書の 4 部から成り立っている。

講師は書く内容を淡々と説明されたが、全体的には

- * 切羽詰まってもあわてないように
- * 基本的には鉛筆書きが良い。（後で修・訂正が必要になった時のために）
- * 自分に関する事（病気の告知の事、臓器提供の事、延命治療の事、葬儀のスタイル等）ははっきり意思表示しておくこと
- * 凡その経費がはじき出せる
- * 自分を見つめ直す機会と捉えると良い

等が書き方の留意点と捉えた。以上のことを参考にして「私のこと」と「病気の告知」について簡単な演習をし、質疑応答の後、参加者の意見を今後の参考にさせて頂きたいとの要望で簡単なアンケートに応じてこの研修は終了した。

講演終了後の会員への連絡は従来とは違って

- (1) 27 のサークルを毎月 4～5 サークルずつ、各サークルの世話人が活動内容や実施方法を魅力たっぷりに説明する。半年で全サークルの説明を終るので、これを繰り返していくことにした。
- (2) 毎月内容が変わる「懐かしの映画を鑑賞会」「インターネットで世界旅行」「歴史を楽しむ会」「易しい科学の話」「例会」の 5 サークルは、毎回次回のその内容を簡単に説明することにした。

以上 大野 記